

第1回県立病院経営強化プラン策定検討委員会の発言要旨

【プラン策定の進め方】

- プランは中央病院の経営企画室だけでなく、現場の若い職員を巻き込んで作るべき。
- 病院の取組の前提として、患者ニーズや高齢化への対応などの視点が欠けている。

【経営形態】

- 経営形態について一部適用と全部適用のメリットデメリットを整理して検討すべき。

【他病院との連携】

- 県立病院と県内公立病院との連携の体制について記載すべき。
- 県民の医療的ニーズと民間病院を含めて提供されているサービスを調査分析し、公民の役割分担を検討する必要があると思う。
- 民間病院を含めた役割分担について記載すべき。
- 県立中央病院も大学に対して、医師の派遣等ぜひいろいろな要望を入れていただきたい。
- 高齢者独特の疾病の入院である、脳卒中や嚥下性肺炎について連携病院でスタッフのトレーニングを行って、うまく解決していく策がこれから地域医療構想の中で求められる。

【その他】

- 組織的に医療安全を強化すべき（職員が意見を言いやすい環境の整備）。
- 患者・職員の満足度調査を行うべき。
- 医師だけでなく、看護師やその他の従事者の研修に関する取組を記載すべき。
- これからの人材活用のプランとして、定年延長や専門・認定看護師の確保についての方向性を示してほしい。
- 県民に対して、病院の取組や、県立病院が全国的に優れているところについて広報すべき。
- DXへの対応を記載すべき。